

京都府  
スーパーサポート  
センター

## SSC だより

冬号



センター長より

年度末の御挨拶  
～共生社会の訪れに期待を寄せて～

近づく春の足音とともに、令和6年度が早くも終わりを迎えようとしています。

今年度も京都府スーパーサポートセンター（SSC）の様々な事業について、府内、多くの学校、教育関係機関等に広く活用していただきましたこと、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

特別な支援を必要とする子ども達が増え続ける中、全ての学校において、今、目の前で様々な姿で SOS を出している子ども達があります。そして、その姿に真摯に向き合い、その子にとっての学びやすさ、生きやすさを模索し、日々奮闘しておられる先生方がおられます。私達 SSC は、その先生方の力に、学校の力になれるようにと考え、今年度の取組を推進してきました。

移転に関わる取組日程の変更もあり、御迷惑もおかけしましたが、新規事業の「オンデマンド研修」は、府内全域から前期、後期合わせて延べ 200 件以上の活用をしていただき、大変にありがたく思っているところです。今後は、専門家の方々を学校等に派遣する「派遣研修」の意味合いを今一度見直し、「オンデマンド研修」との組み合わせにより、より各学校の意図を踏まえた研修体系にしていきたいと考えております。

また、同じく新規事業である「コンサルテーション事業」は、地域との最前線で努力しておられる各特別支援学校地域支援センター独自の課題解決に向けて SSC が協力し、ともに考えるという、SSC が在る京都府の体制整備の強味を生かしたものでした。京都府のセンター的機能は、まさに一つのチームであると強く感じさせられました。

京都府の特別支援教育は、府教育振興プランに書かれている「京都府としてのインクルーシブ教育の考え方」の実現に向けて施策的にもひとつの大きな局面を迎えています。私達 SSC は、こうした流れを踏まえ、多様な学びの場において、特別支援教育が全ての子どもに当たり前に行われる教育になることを願いながら、これからも多くの人と手をつないで歩みます。

センター長 平岡 克也

## &lt;報告&gt;地域支援センターと連携した専門性向上の取組

## 【ケース検討会】

地域支援コーディネーターとして必要なコンサルテーションやコーディネーションの技量や資質を高めることを目的に、ケース検討会を実施しました。府内の地域支援センターを3つに分けて実施し、竹田 契一 氏（大阪医科薬科大学 小児高次脳機能研究所・LD センター 顧問）、加藤 寿宏 氏（関西医科大学 リハビリテーション学部 教授）、渡邊 由佳 氏（京都府発達障害者支援センター はたきセンター長）の3名を講師としてお招きし、ケースについて協議を行ったり、講師から助言を受けたりしました。



## 【コンサルテーション事業】

地域支援コーディネーターの資質向上と組織運営のサポートを目的として、今年度から府専門家チーム委員による地域支援センターへのコンサルテーション事業を開始しました。今年度は10の地域支援センターから実施希望があり、24件のコンサルテーションを実施しました。

今後も府内の地域支援センターと連携し、相談支援や研修支援の専門性向上に努めます。





# 研修支援について



令和6年度の研修支援は、従来どおりの「依頼研修（講師派遣）」に加え、今年度新たに「オンデマンド研修」を実施しました。

それぞれの課題に沿ってアプローチするために、「依頼研修」、「オンデマンド研修」どちらも実施した組織からの満足度は高く、特別支援教育を推進する取組となりました。

## 依頼研修

依頼研修は、27件の実施でした。

学校独自の特別支援教育に関する課題から研修を企画され、ニーズにあった講師（府専門家チーム委員）をSSCがコーディネートし、課題解決に向けた研修を実施しました。

### 〈実施方法〉

- ・講義形式
- ・ケース検討形式
- ・授業参観後に助言形式 等

研修の事後アンケートから、「事例を聞きながらホワイトボードに情報を書き上げ、参加者の話やグループ討議から、問題点や解決に向けての糸口を模索する新しい形式の研修で、今後の児童生徒対応にも活用したい。」等がありました。研修をとおして新しい視点を得られることも依頼研修（講師派遣）のメリットです。

### 【依頼研修の様子】



A 高等学校

研修テーマ  
「愛着に課題のある子どもの対応」

実施方法【ケース検討形式】  
事例を聞きながら、講師がホワイトボードに記入していき、全体で情報を見える化し、グループワークを実施



B 小学校

研修テーマ  
「読み書きに課題のある児童への支援・合理的配慮におけるICT活用」

実施方法【実践込み講義形式】  
実際にタブレット端末を活用しながら実施

オンデマンド研修は、Ⅰ期・Ⅱ期合わせてのべ207の学校等で視聴していただきました。講演動画は、基礎基本の内容であり、申込の多さから特別支援教育の基礎的な知識に係るニーズが高いことがわかりました。Ⅰ・Ⅱ期の研修動画8テーマ全てを視聴された団体も複数ありました。

### 〈実施対象〉

- ・学校全体研修
- ・特別支援学級担任や通級指導教室担当者会議
- ・校務分掌の研修 等

少人数でも工夫して視聴されていました。

Ⅱ期は、グループワークをどの講演動画にも組み込むことで、「他の人の考えを聞くことができ、理解が深まった。」等の感想がありました。

オンデマンド形式で研修をうけることができるため、学校の予定に合わせて研修の計画が立てられることもオンデマンド研修のメリットの一つです。

### 【オンデマンド研修視聴の様子】



C 小中学校

研修テーマ  
「不登校支援」を視聴

実施方法【校内研修として実施】  
視聴後、学校独自で準備されたテーマでグループワークを実施し、具体的な話を交わした



D 高等学校

研修テーマ  
「高等学校における特別支援教育」を視聴

実施方法【校務分掌として実施】  
動画内のグループワークに取り組み、お互いの考えを共有

## 研修編

## 令和7年度SSC研修支援事業（予定）



令和7年度は、今年度大好評だった特別支援教育のベーシックな学びを広く提供する【オンデマンド研修】、各学校等の組織の特別支援教育に係る課題解決のための【依頼研修】について共に実施予定です。詳細は、令和7年4月に各学校等へ配布予定の「令和7年度京都府スーパーサポートセンター（SSC）」実施要項、「令和7年度依頼研修（講師派遣）実施要項」「令和7年度オンデマンド研修実施要項」を御確認ください。

次年度も、府内の特別な支援を必要とする子ども達の適切な指導や支援を考える教職員をサポートし、京都府全域における「インクルーシブ教育システム構築」に貢献します。どうぞよろしくお願いいたします。

京都府スーパーサポートセンター（SSC） TEL：075-606-2480（直通）

ホームページ：<https://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-ssc/cms/>

〒612-0064 京都府京都市伏見区桃山毛利長門西町 京都府総合教育センター 2階

